西中進路通信

第２号

平成２６年４月２１日

進路担当：小谷

オープンスクールに参加しよう

～　百聞は一見に如かず　～

中学卒業後の進路として、大きく「就職」と「進学」の２つが考えられます。しかし、近年の不況の影響から、就職については中卒生の募集が全くなく、多くの卒業生は高校への進学を選択しています。そこで、「どこの高校を選択するのか」が問題になりますが、全く情報がない状態では、高校を選択することはできません。高校のホームページやパンフレットを見て、興味を持った学校があれば、学校見学会や体験授業に参加して、その高校の様子を確かめましょう。（特に、**過去の卒業生が受験をしている学校は、一度見ておきましょう**。）

「〇〇高校が良い」「△△高校は荒れている」「□□高校は偏差値が低い」など、高校に関する様々な噂が周囲にはあると思いますが、それだけで高校を選択しないようにしましょう。その学校が合うか合わないかは人によって様々ですし、学校の様子や合格基準、カリキュラム等も年々変わっています。また、「偏差値が高い学校」＝「良い学校」ではありません。自分が 3 年間頑張ることができて、自分の力を伸ばすことができる学校が、その人にとって「良い学校」だと思います。周りの噂に振り回されるのではなく、実際にその高校に行ってみて、自分の目で学校の様子を確かめましょう。

学校見学会の三得

1.その学校に関する最新の情報を得ることができる。

学校の様子を実際に体感でき、自分に合うかどうかを確かめることができます。また、卒業生の進路先や部活動の実績の最新情報を入手でき、活動の様子なども見ることができるので、高校入学後の学校生活をイメージしやすくなります。

2.受験生としての自覚が芽生える。

高校に足を運び、高校の先生の話を聞いたり、他校生の姿を見たりすることで、受験を意識するようになります。その結果、学校生活や学習に対して意欲的に取り組むことができるようになります

3.進学に対する意欲をアピールできる。

受験に面接試験がある場合、学校見学会に参加しているのと参加してないのとでは、面接官に与える印象が全く違います。**高校の中には、学校見学会への参加が受験の条件になっている学校もあります**し、**面接の中で見学会に参加したかどうかを聞かれることもあります**。受験を考えている学校については、必ず学校見学会に参加するようにしましょう。

学校見学会への参加の仕方

どんな学校なのかを実際に目で見て確認するために、学校見学会に参加をするわけですが、みなさんが学校の様子を見るのと同じように、**高校の先生もみなさんの様子を見ています**。適切な服装で積極的に挨拶ができれば好印象を持ってもらえますが、逆にだらしない服装だったり、話をきちんと聞かなかったりして迷惑をかければ、その人の印象が悪くなるだけでなく、学校全体の印象も悪くなり、同じ学年の仲間たちや後輩たちにも迷惑をかけることになります。見に行くだけでなく、見られていることも忘れずに、礼儀正しい態度を心がけてください。

また、高校への移動については、通学することを想定して交通機関を使うようにしましょう。自転車は、駐輪スペースの都合で高校に迷惑をかけたり、危険もあるので使用しないでください。

最後に、**やむを得ない事情で欠席をする場合は、必ず中学校と高校に連絡をしてください**。中学校に無断で見学会に参加したり、申し込んでいた見学会を無断で欠席したりしてはいけません。高校の先生方は、みなさんを迎えるために様々な準備をしてくださっています。申し込んでいる見学会に欠席することは、高校に対して失礼にあたるので、やむを得ない事情がない限り欠席はしないようにしましょう。

学校見学会への申込み方法

見学会への参加を希望する場合、各教室に掲示されている『高等学校見学会　参加申し込み用紙（学校提出用）』に必要事項を記入し、〆切り日までに担任に提出してください。見学会の案内や〆切り日は、教室に掲示されているので、各自で確認をしてください。

また、次の場合についても、参加申込用紙（学校提出用：ウラ面参照）を提出してください。

＊特に私立高校の場合（公立は必ず中学校を通して申し込むこと）

①案内に「申込み不要」と書いてある場合	→	「参加申込用紙（学校提出用）」を担任に提出
②案内についている「返信用ハガキ」を出す場合や、申込み用の電話番号・ＦＡＸ番号・メールアドレスが記載されている場合	→	「参加申込用紙（学校提出用）」を担任に提出し、各自で「返信用ハガキ」を出す、または電話・ＦＡＸなどで申し込む